

玄ぶ^一におもひたる人を、玄のびて聳にとりて、思ふさまならずとなげく人、
 〔枕草子^十〕ある人のいみじう時にあひたる人のむこになりて、一月もはか^くしうもこでやみにしかば、すべていみじういひさはぎめのとなどやうのものは、まが^くしき事どもいふもあるに、其かへる年の正月に藏人になりぬ、あさましうかゝるなからひに、いかでとこそ人は思ひためれなどいひあつかふは、聞らんかし、六月に、人の八講し給ひし所に、人々あつまりてきくに、この藏人になれるむこのれうのうへの袴、すわうがさね、くろはんひなど、いみじうあざやかにて、わすれにし人の車のとみのをに、はんひのをひきかけつばかりにてゐたりしを、いかに見るらんと、車の人々も、玄りたるかぎりはいとほしがりしを、こも人ども、つれなくゐたりし物哉など、後にもいひき、

〔長秋記〕長承三年六月三日辛巳、大工季貞依犯遇停止作事、依此事爲諸事懈怠也者、可仰付他人歟爲季貞養子^{聳也}、時次可令作歟

〔吾妻鏡^四〕建長二年六月廿四日戊午、今日居住佐介之者、俄企自害、聞者競集團繞此家、觀其死骸、有此人之聳、日來令同宅處、其聳白地下、向田舍訖、窺其隙、有通艷言於息女事、息女殊周章、敢不能許容、而令投櫛之時、取者骨肉皆變、他人之由稱之、彼父潛到于女子居所、自屏風之上投入櫛、息女不意而取之、仍父已准他人欲遂志、于時不圖而聳自田舍歸著、入來其砌之間、忽以不堪悲及自害云云、聳仰天悲歎之餘、即離別妻女、依不隨彼命、此珍事出來、不孝之所致也、不能施芳契之由云云、剩其身遂出家、修行訪舅夢後云云、

相婿

〔倭名類聚抄^二姻婚〕姪 釋名云、兩婿相謂爲姪、^{亞反、和名阿比無古}言一人取姉、一人取妹、相亞次也、又曰、友婿言相親友也、

〔箋注倭名類聚抄^一姻婚〕釋名又云、又並來入女氏門、姉夫在前、妹夫在後、亦相亞也、^略中 原書姪作亞、